



附中だより

令和2年4月20日

第2号

宮城教育大学附属中学校

〒980-0011 仙台市青葉区上杉6丁目4番1号 電話 022-234-0347 FAX022-234-0301 <https://fu-cyuu.miyakyo-u.ac.jp/>

令和2年度入学式を挙りました。

4月9日(木)、参加者の限定(来賓・在校生徒なし、各御家庭保護者1名のみ)、マスク着用の義務、座席配置の工夫、常時換気実施等、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策の下、簡略化された式とはなりましたが、無事入学式を執り行い、新入生を迎えることができました。

初めて登校した新入生たちは、はじめは緊張した面持ちでしたが、久しぶりに過ごす掛け替えのない同級生との時間や、新しい仲間との出会いにより、少しずつ表情がほぐれてゆき、下校する頃には、たくさんの笑顔を見ることができました。我々職員一同も、わずかではありましたが、生徒たちと過ごすことができる充実した時間を久しぶりに味わうことができました。

やはり、学校は生徒が活発に活動してこそです。今の学校は、残念ですがそうではありません。一日も早く事態が収束し、学校に子供たちの笑顔があふれる日常が戻ってくることを、職員一同心から祈っています。

そんな中、入学式で立派に発表した二人の生徒の言葉を紹介します。学校が始まるまでじっと家で我慢している生徒たちのためにも、私たち大人がこの現況に負けてはいけないと思わされる言葉です。是非、お読みください。

歓迎の言葉

在校生代表 杉田 知泰 さん

温かく、優しい風が心地良く吹き渡り、桜の花が新たな物語の始まりを祝福するかのように咲き誇っています。

159名の新入生のみなさん、宮城教育大学附属中学校への御入学、おめでとうございます。在校生一同、みなさんとの出会いを心待ちにしていました。みなさんは、新しく始まる中学校生活への期待と不安を抱えて、この附属中学校の校舎へ脚を踏み入れたことと思います。新しい制服、教科担任制の授業、定期テスト、学校行事、サークル活動など、中学校生活には、みなさんにとって新鮮な出来事がたくさんあります。分からないこと、不安なことがあっても、私たち2・3年生がみなさんをしっかりと支えます。

私たち附中生は、「自主」「共同」「明朗」の三つの校是を目標として学校生活を送っています。「自主」とは、自ら目標を持ち、それに向かって進んで挑戦すること。「協同」とは、互いの個性を認め、それを生かして高め合うこと。そして、「明朗」とは、明るく思いやりにあふれ、心豊かに生活すること。みなさんも、附中生として、この三つの校是を胸に、日々の生活や行事等に取り組んでほしいと思います。中学校生活では、小学校のときよりも忙しいと感じることがあるかもしれません。それでも、附属中学校は興味深い活動にあふれています。これまでの学校生活を通して、今、私が大切だと実感している二つのことを伝えたいと思います。

一つは、挑戦することの大切さです。一つ一つのことに真剣に向き合って得た学びはとても貴重なものです。中学生として生活できるのはたったの三年間です。消極的になってはもったいないと思うのです。これまでに身に付けた力と、一人一人が持つ個性を生かし、新たなことに果敢に挑戦してほしいと思います。

もう一つは、周囲への感謝の思いを持ち続けることです。いつも支えてくれる家族、御指導くださる先生方、共に学ぶことができる先輩や仲間。今あるものを当たり前と思わず、周囲の人を思いやり、今、こうしていただけることへの感謝の気持ちを大切にしてほしいと思います。

今月末から本格的に中学校生活が始まります。まずは、日々の生活の中で仲間と過ごす楽しさや喜びを実感してください。そして、挑戦する前向きな気持ちと、周囲への感謝を忘れずに、楽しく、学びの多い、充実した学校生活を共につくっていきましょう。

今、ここに、附中生471名がそろいました。全校生徒一丸となって、月曜日が待ち遠しくなる、活気ある学校にしていきましょう。新入生のみなさんとの出会いに心から感謝し、新たな附属中学校を共に創り上げることへの期待を込めて、歓迎の言葉といたします。

新入生代表のことは

新入生代表 栗野 こはる さん

華やかに桜の花びらが舞い、春告げるきのこ、アミガサタケの便りが届く季節、真新しい制服を身にまとい、それぞれの決意も新たに、私たちは宮城教育大学附属中学校の門をくぐりました。強く優しい春の風は、新生活への不安と期待でいっぱいの私たちの背中を押してくれます。当たり前だと思っていたことが当たり前ではなくなってしまった今年、このような入学式を挙げていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

2月末日、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、休校要請が出されました。それにより私たちの小学校生活は突然終わりを迎えました。6年間お世話になった学び舎、先生方、共に学んだ仲間たちとの別れを惜しむ間もなく、外に放り出されたような不安や悲しみは、どこにもぶつけようがない怒りにも似た感情を生みました。でも、この体験が私たちをまた一つ強くしてくれました。いつも側で支えてくれていた友や先生方、家族の存在をより近くに感じることもできました。そして迎えた卒業式は、各学校簡略化されたものではありませんでしたが、今日の入学式同様、温かく、思いやりにあふれていて、私たちの心は感謝と希望に満たされました。これからどんな困難が待ち受けていても、この経験と想いを共有できる私たちなら、力を合わせて乗り越えられると思っています。

附属中学校の学校目標である「自主・共同・明朗」—自ら考え行動し、共に学び合い、高め合う—という姿勢は、自己の将来を切り拓くだけでなく、国や世界を救う力になり得ると今強く思うのです。

私は、きのこが大好きです。きのこは、美味しく食べるだけでなく、その個性的な姿を愛でるだけでなく、分解者としての能力が環境汚染の浄化、有害な細菌やウイルスの浄化にも役立ちます。そんなきのこたちの無限の可能性に思いをはせるとき、私の心は大きく震えます。きのこ同様、私たちの未来と可能性も無限に広がっています。隅々まで菌糸を伸ばし、手を取り合いながら、この伝統ある附属中学校で、たくさんのことを吸収し、成長したいと思っています。校長先生をはじめ、諸先生方、先輩方、保護者の皆様、私たちが、迷い立ち止まるようなことがあれば、時に厳しく、時に優しく導いてくださいますよう、お願いいたします。

私たち新入生一同、宮城教育大学附属中学校の生徒としての誇りを持ち、「自主・協同・明朗」を念頭に置き、努力することを誓います。

連絡

- 1 4月25日（土）に予定していた授業参観、同じく28日（火）に予定していたスポーツ大会は、中止とします。
- 2 附中だより1号でお知らせしたとおり、5月に予定していた第2学年の山形総合学習は、9月に延期となりました。
費用の納入については、お振り込みいただきますようよろしくお願いいたします。
- 3 通学定期券購入申込書、通学証明書、定期乗車券購入申込書については、学校が開校した後、再度配付する予定です。



今年も桜はきれいに咲きました。